

平成 23 年 度
(平成 22 年度対象)

福知山市教育委員会 点検・評価報告書

平成 24 年 1 月

福知山市教育委員会

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	教育委員会会議、協議会の開催状況・・・・・・・・	2
3	教育委員会会議での審議状況・・・・・・・・	2
4	教育委員会会議以外の活動・・・・・・・・	7
5	施策の取組状況評価・・・・・・・・	8
	（1）点検・評価の対象・・・・・・・・	8
	（2）点検・評価結果の構成・・・・・・・・	9
	（3）教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言等・・・・・・・・	9
	（4）評価の結果・・・・・・・・	11
	1 青少年の健全育成・・・・・・・・	11
	2 学校教育の充実・・・・・・・・	12
	3 生涯学習の充実・・・・・・・・	15
	4－1 文化財の保存・活用・・・・・・・・	16
	4－2 文化財普及・啓発事業・・・・・・・・	16
	5 スポーツ活動・文化活動の推進・・・・・・・・	17
	6 生命の尊重・人権意識の高揚・・・・・・・・	18
	7 教育委員会の運営改善・・・・・・・・	18
6	おわりに・・・・・・・・	19
7	資料 《評価の詳細》・・・・・・・・	20

1 はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正となり、平成20年4月より施行され、教育委員会は毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

そこで、福知山市教育委員会では、教育行政の充実を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、平成22年度の教育委員会の事務事業を、第4次福知山市総合計画の「第6章 魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり」にある5施策及び、教育委員会として主要事項と判断した「生命の尊重・人権意識の高揚」と「教育委員会の運営改善」の計7施策に分け、教育委員会自らが事務の進捗状況等について、教育的な視点に立って点検・評価を実施し、学識経験者に意見等をいただいて本報告書をまとめました。

これは、地方の教育行政を推進していく教育委員会のあり方を問われているものであり、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくことを強く求められているのでありますので、この点検・評価結果を、今後の開かれた教育行政の推進と教育関係者の資質の向上に繋げていきたいと考えております。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕（平成20年4月1日施行）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成22年度福知山市教育委員会委員

委員長 上山 英子
委員 倉橋 徳彦
委員 人見 洋一
委員 大槻 豊子
教育長 荒木 徳尚

2 教育委員会会議、協議会の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催しており、また事前協議等のための「協議会」も開催しています。

(1) 教育委員会定例会・・・・・・・・12回

(2) 教育委員会臨時会・・・・・・・・5回

(3) 教育委員会協議会・・・・・・・・8回

3 教育委員会会議での審議状況

(1) 定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「福知山市教育委員会基本規則」第10条に定める事務について、平成22年度は合計73件について審議しました。

①教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること・・・・・・・・3件

②委員会規則その他委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること・・・・・・・・17件

③教育予算、条例案、その他議会の議決を経るべき議案について・・・・・・・・8件

④法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・5件

⑤委員会及び学校その他の教育機関の職員の人事に関すること・・・・・・・・8件

⑥教科書の採択に関すること・・・・・・・・1件

⑦教育に係る後援に関すること・・・・・・・・30件

⑧教育に係る表彰に関すること・・・・・・・・1件

○平成22年度 教育委員会審議案件一覧

議案番号	件 名	議決日
議第 1 号	真琴会・城紀会箏曲演奏会後援の承認を求める件	4月20日
議第 2 号	福知山市体育館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 3 号	福知山市社会教育委員の委嘱について	5月25日
議第 4 号	福知山市少年補導センター運営委員会委員の委嘱について	
議第 5 号	福知山市立公民館運営協議会委員の委嘱について	
議第 6 号	福知山市立図書館協議会委員の委嘱について	
議第 7 号	ゆきあひ夜久野ライブ後援の承認を求める件	
議第 8 号	『地球のステージ』ライブコンサート後援の承認を求める件	
議第 9 号	第32回西京都少年野球振興会、会長杯争奪少年野球大会後援の承認を求める件	
議第 10 号	第1回関西女子硬式野球選手権大会後援の承認を求める件	
議第 11 号	委員長の選任について	6月30日
議第 12 号	委員長職務代理者の指定について	
議第 13 号	第5回救急フェスティバル後援承認を求める件	
議第 14 号	都山流尺八昇格者披露演奏会後援の承認を求める件	
議第 15 号	聖テレジア幼稚園・小さき花幼稚園合同教育講演会後援の承認を求める件	7月27日
議第 16 号	思春期子育てセミナー後援の承認を求める件	
議第 17 号	「関西文化の日」への参加について	
議第 18 号	福知山地区保護観察協会創立50周年記念講演会後援の承認を求める件	
議第 19 号	平成23年度以降使用小学校教科用図書の採択について	8月3日
議第 20 号	小学校教職員の懲戒処分内申について	8月24日
議第 21 号	平成22年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について	
議第 22 号	ライブエイド5 後援の承認を求める件	
議第 23 号	第20回京都府グラウンド・ゴルフ協会秋季（北部）大会後援の承認を求める件	
議第 24 号	平成22年度教育委員会表彰について	
議第 25 号	第2回市民文化講座「伝統芸能鑑賞教室・ワークショップ付歌舞伎舞踊“連獅子”」後援の承認を求める件	9月28日
議第 26 号	第2回福知山市「未成年の主張」弁論大会後援の承認を求める件	
議第 27 号	2010福知山オープンダブルス競技大会後援の承認を求める件	
議第 28 号	福知山市スポーツ少年団創設45周年記念式典後援の承認を求める件	
議第 29 号	福知山市民チャリティーゲートボール大会後援の承認を求める件	
議第 30 号	京都府タグラグビー指導者講習会後援の承認を求める件	
議第 31 号	委員長の選任について	10月5日
議第 32 号	委員長職務代理者の指定について	
議第 33 号	平成22年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について	11月2日
議第 34 号	公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業「3組のアーティストによるまごころコンサート」後援の承認を求める件	
議第 35 号	「みんなまんてんの笑顔」写真展後援の承認を求める件	

議第 36 号	「2010年度ピティナ・ピアノステップ丹波地区」後援の承認を求める件	
議第 37 号	川口地域みんなの登校日～夢・希望・活力、地域と学校応援プロジェクト後援の承認を求める件	
議第 38 号	専決処分の承認について	
専決 1 号	職員の昇格の発令について	
議第 39 号	平成23年度福知山市立学校教職員人事異動方針の策定について	11月16日
議第 40 号	S K Y文化交流フェスティバルin福知山後援の承認を求める件	11月30日
議第 41 号	星空観望会後援について	
議第 42 号	福知山市学校運営協議会規則の制定について	12月21日
議第 43 号	専決処分の承認について	
専決 2 号	「越前瓦作品展鬼師・西郡正義の世界より」後援の承認を求める件	
議第 44 号	福知山市スポーツ少年団創設45周年記念平成23年度福知山市スポーツ少年団指導者研修会兼育成母集団情報交換会後援の承認を求める件	1月25日
議第 45 号	平成23年事業計画書の提出について	
議第 46 号	「漢字から学ぶ地域の習俗と祭祀」パネル展と講習会後援の承認を求める件	2月22日
議第 47 号	平成23年度母の日記念「お母さん展」（第35回お母さんの似顔絵全国コンテスト）平成23年度父の日記念「お父さん展」（第9回お父さんの似顔絵全国コンテスト）後援の承認を求める件	
議第 48 号	平成23年度学校教育の重点について	
議第 49 号	平成23年度社会教育の重点について	
議第 50 号	平成22年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書及び繰越調書の提出について	
議第 51 号	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例」の制定に伴う本市教育委員会の意見について	
議第 52 号	教職員人事異動内申について	3月1日
議第 53 号	福知山市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	3月15日
議第 54 号	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例」の制定に伴う本市教育委員会の意見について	
議第 55 号	教職員人事異動内申について	
議第 56 号	福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱の制定について	3月23日
議第 57 号	福知山市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 58 号	福知山市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 59 号	福知山市立小学校及び中学校通学区域の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 60 号	福知山市就学援助に関する規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 61 号	福知山市体育指導委員に関する規則を廃止する規則の制定について	
議第 62 号	福知山市立体育館条例施行規則を廃止する規則の制定について	
議第 63 号	福知山市民運動場条例施行規則を廃止する規則の制定について	
議第 64 号	福知山市三和町鹿倉運動公園条例施行規則を廃止する規則の制定について	
議第 65 号	福知山市夜久野町体育施設条例施行規則を廃止する規則の制定について	
議第 66 号	福知山市大江町体育施設条例施行規則を廃止する規則の制定について	
議第 67 号	福知山市地域プール条例施行規則を廃止する規則の制定について	
議第 68 号	福知山市成和地域運動場条例施行規則を廃止する規則の制定について	

議第 69 号	福知山市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 70 号	第2回福知山市武道館竣工記念剣道大会後援の承認を求める件	
議第 71 号	あいかつ・GMW杯争奪車いすハンドボール大会後援の承認を求める件	
議第 72 号	平成23年度東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会京都大会後援の承認を求める件	
議第 73 号	教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の異動発令について	

○平成22年度教育委員会 報告・説明事項

番号	件 名	報告日
1	福知山市教育委員会事務決裁規程（平成4年福知山市教育委員会教育長訓令甲第2号）の一部改正について	4月20日
2	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担職員の服務に関する規程の一部改正について	
3	福知山市就学指導委員会に関する要綱（平成17年福知山市教育委員会告示第1号）の一部改正について	
4	福知山市へき地学校児童生徒通院費補助金交付要綱（昭和56年福知山市告示第42号）の一部改正について	
5	福知山市教育委員会事務決裁規程（平成4年福知山市教育委員会教育長訓令甲第2号）の一部改正について	
6	福知山市民運動場の附属設備の使用料を定める規則の一部改正について	
7	第45回福知山市子ども大会について	5月25日
8	平成22年度福知山市の人権教育について	
9	福知山市人権問題に関する意識調査の概要について	
10	平成22年度「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」について	
11	第58回四都市体育大会について	
12	福知山私立幼稚園就園奨励費交付要綱（昭和47年福知山市告示第34号）の一部改正について	6月30日
13	旧金山小学校（金山自然教育センター）に伴う行政財産の所管換えについて	
14	平成22年度福知山市少年補導センター運営委員会委員について	
15	平成22年度福知山市立公民館運営審議会委員について	
16	平成22年度福知山市立図書館協議会委員について	
17	第13期社会教育委員会議答申について	
18	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	7月27日
19	児童生徒の活躍について	8月24日
20	平成22年度京都府健康教育推進優良校表彰の受賞について	
21	平成22年度京都府学校歯科保健優良表彰の受賞について	
22	平成22年度市立学校（園）防災訓練の実施について	
23	平成23年度福知山市立幼稚園児募集について	9月28日
24	第20回福知山マラソンについて	11月2日
25	図書館の除籍資料提供について	
26	平成23年度福知山市立幼稚園児の募集結果について	12月21日
27	平成23年福知山市成人式について	

28	生涯学習フェスティバル2010inふくちやまについて	
29	福知山市少年補導センター運営委員会委員の交代について	1月25日
30	福知山市保幼小中一貫・連携教育推進計画シームレス学園構想について	3月15日

(2) 協議会

「福知山市教育委員会基本規則」第4条により開催した協議会において、案件一覧表のとおり平成22年度は合計6件について協議しました。

○平成22年度 教育委員会協議会案件一覧

番号	件 名	協議日
1	学校教育審議会答申説明会の意見とホームページ掲載について	6月30日
2	教育委員会点検・評価について	
3	人事案件について	7月27日
4	学校給食センターについて	9月28日
5	学校教育改革推進プログラムについて	11月30日
6	福知山市新学校給食センターの基本設計について	2月22日

8月24日・12月21日・3月23日の3回については、教育長報告のみ

4 教育委員会会議以外の活動（教育委員が出席した活動等）

月	各種行事・大会等	
	福知山市関係	国・府関係
4月	新任校長着任式 上川口小・公誠小統合式 川口中・北陵中統合式 市立幼稚園、小・中学校当初校（園）長会議 自治功労者表彰	中丹管内教育委員会委員長・教育長会議
5月	春季自治会長会 教科書採択委員会	中丹地方教育委員会連絡協議会 京都府市町村教育委員会連絡協議会
6月	市議会定例会 外国語活動研究発表会	
7月	市立幼稚園、小・中学校第2回校（園）長会議 教科書採択委員会	
8月	市学校教育振興会教育講演会 市小学生陸上競技大会	
9月	市議会定例会	
10月	惇明小学校研究発表会 美河小学校研究発表会	近畿市町村教育委員会連絡協議会
11月	鬼シンポジウム 学校音楽祭 日新中学校研究発表会 教育委員会表彰 雀部小学校研究発表会 福知山マラソン表彰式 市議会臨時会 学校保健研究大会	
12月	市議会定例会 体育協会納会 市立幼稚園、小・中学校第3回校（園）長会議 市議会臨時会	
1月	福知山市成人式 六人部ブロック研究発表会	
2月	府民総体市町村対抗駅伝開始式・表彰式 学校教育フェスティバル	
3月	市議会定例会 市民駅伝大会 市立小・中学校卒業式	

5 施策の取組状況評価

(1) 点検・評価の対象

「青少年の健全育成」「学校教育の充実」「生涯学習の充実」「文化財の保存・活用、文化財普及・啓発事業」「スポーツ活動・文化活動の推進」「生命の尊重・人権意識の高揚」「教育委員会の運営事業」の7施策に分類して、各々の項目に該当する平成22年度の教育委員会事務事業を点検・評価の対象としています。

平成22年度福知山市教育委員会評価項目一覧

1 青少年の健全育成
(1) 社会参加活動の支援
(2) 健全育成活動の促進
(3) 健全育成体制の充実
2 学校教育の充実
(1) 学力の向上・充実
(2) 心身ともに健やかな子どもの育成
(3) 特別支援教育の推進
(4) 市民参加で進める開かれた学校づくりの推進
(5) 学校教育環境の整備
(6) 幼稚園教育の整備・充実
3 生涯学習の充実
(1) 生涯学習施設の整備・充実
(2) 生涯学習の支援
(3) 図書館ネットワークの構築
4-1 文化財の保存・活用
(1) 有形・無形文化財の保存、修理
(2) 埋蔵文化財の保存、保護
4-2 文化財普及・啓発事業
(1) 周知普及事業
(2) 地域の伝承、文化普及事業
(3) 資料館等施設の活用事業
5 スポーツ活動・文化活動の推進
(1) スポーツ活動の支援
(2) 文化活動の支援
(3) スポーツ・文化施設の整備
6 生命の尊重・人権意識の高揚
(1) 人権教育・人権啓発の推進
7 教育委員会の運営改善
(1) 教育委員会活動の充実
(2) 教育委員会会議の公開

(2) 点検・評価結果の構成

①評価対象

福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱に基づき、福知山市教育委員会の事務・事業を7施策23項目ごとに点検・評価を行いました。

②事業内容・実績・対象者等

各項目の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、実績及び対象を示しました。

③成果・課題等

教育上効果のあがった内容、成果及び課題等を示しました。

④内部評価

計画目標に対し、取り組みの進捗状況をふまえて自己内部評価を各事業に対して行い、総合評価を外部の方々の御意見を参考にしながら、A～Dの4段階評価を行いました。

(評価判断基準) A・・・計画以上の成果が得られた。

B・・・計画どおり目標は達成できた。

C・・・課題があり、改善を要する。

D・・・成果の点から休止又は廃止する事業である。

⑤担当課

事業を実施した担当課名を示しています。

(3) 教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言等

点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する方の御協力を得て、点検・評価会議を開催し、様々な意見や助言をいただきました。

委員名

(敬称略)

氏 名	所 属
足 立 正 夫	元：夜久野町教育長 前：夜久野地域公民館長
池 田 廣 子	現：成美大学教授

開催期日	第1回	平成23年 9月 8日
	第2回	平成23年 9月14日
	第3回	平成23年 9月26日
	第4回	平成23年10月 4日
	第5回	平成23年10月27日

点検・評価会議での主な意見・助言は次のとおりです。

各施策・項目ごとに実施されている一つひとつの事業は理解できるので、市教育行政全体として目指されている全体像を示し、その実施状況、成果と課題を評価されていくことを望む。

教育の重点施策を具体的にイメージできるようにされることが大切である。

例えば、保護者や市民の関心事である「学力」「生徒指導」「健康安全」等について、実施の成果と次年度への課題をできる限り明らかにされたい。

また、評価の客観性を確保するために、実施前に成果指標として数値化できる事務事業は具体的な数値目標を定めておく。事業期間が複数年にまたがる事業の評価は、全体を通して評価をする必要がある。

さらに、評価の判断基準の適用に当たっては、評価の根拠として各施策で実施されている実態調査・市民意識調査・学校評価等、各種の調査により評価されることが望ましい。

以上の点から、結論として、点検・評価を次年度につなげていくためには、市民の関心や理解、連携・協力を得ていくことが欠かせないので、広報に努められたい。

(4) 評価の結果

1 青少年の健全育成 3項目13事業【A評価0 B評価13 C評価0 D評価0】

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
① 社会参加活動の支援	○心の教育実践活動 ○少年補導センター推進事業 ○子ども会育成事業 ○三岳青少年山の家管理運営事業 ○親子体験教室の開催 ○各地域公民館において世代間交流を実施	地域住民の交流が図れた 地域状況に応じた活動を展開した 休会する団体が増加している 青少年活動利用が減少傾向にある 親子の絆を深め子どもの健全育成につなげる取り組みができた 高校生と小学生、地域の大人と子どもなど、様々な世代間交流ができた	B B B B B B	生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 公民館 公民館
② 健全育成活動の促進	○こだま教育運動 ○早ね早おき朝ごはん+ワン(家読)運動推進事業 ○子ども大会事業 ○勤労青少年ホーム	掲示教育において啓発文を掲示した 学校・PTAと連携し全校で実施した 幼保育園児から高校生までが主役として参加できた 目的達成により今後の利用の検討が必要である	B B B B	生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
③ 健全育成体制の充実	○青少年健全育成 ・青少年問題協議会の開催 ・第51回青少年健全育成大会の実施 ・保護司会・更生保護女性会への活動支援 ・「青少年を非行から守り健全に育てる運動」街頭啓発 ・「青少年の非行・被害防止全国強調月間」街頭啓発 ○放課後まなび教室 ○成人式	青少年のための市民総がかりの組織づくりが必要である 安心安全な場と学習・体験の機会を提供し、児童の健全育成に努めた 対象者の多くが出席され、厳粛に挙行することができた	B B B	生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

2 学校教育の充実 6項目57事業【A評価12 B評価45 C評価0 D評価0】

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
① 学力の向上・充実	○文武向上プラン学校支援事業	各校の文武向上プランの取組みを支援した	A	学校教育課
	○「京の子ども夢・未来体験活動」推進事業	職場等での体験活動の取組みを支援した	B	学校教育課
	○授業力向上推進事業	ブロック内の学校が共同して授業力向上の研究を支援した	B	学校教育課
	○教育関係研究大会運営事業	本市の教育実践(情報教育)を公開した	B	学校教育課
	○学校美術展事業	美術の成果発表で豊かな情操を培った	B	学校教育課
	○教科等研究専門員先進地視察事業	教育力向上をめざし、先進校の視察を実施した	B	学校教育課
	○AET配置活用事業	AETを配置し英語教育、外国語活動の推進を支援した	B	学校教育課
	○総合的な学習研究活動推進事業	各小中学校の総合的な学習研究活動を支援した	B	学校教育課
	○教育活動指導援助事業	社会科副読本改訂版を作成した	A	学校教育課
	○小中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業	経済的理由による不就学の防止に向けて事業を実施した	B	学校教育課
	○学校音楽祭事業	音楽の成果発表で豊かな情操を培った	B	学校教育課
	○チャレンジ学習事業	基礎基本の徹底と学習意欲の向上に向けた取組を実施した	B	学校教育課
	○中学校学力向上対策事業	学力診断テストを実施し、指導に役立てた	B	学校教育課
	○スクールアシスタント配置事業	教員の子どもと向き合う時間の確保を図った	A	学校教育課
② 心身ともに健やかな子どもの育成	○小学校移動教室事業	市内施設を利用して行う、集団宿泊体験を支援した	B	学校教育課
	○心の安定基地づくり推進事業	不登校児童生徒が減少した	A	学校教育課
	○学校安全対策事業	学校安全対策として防犯ブザーを購入した	B	学校教育課
	○子ども安全対策事業	子ども見守り活動の充実を図った	B	学校教育課
	○学校保健事業	健康で安全な学校生活を推進した	B	学校教育課
	○人権教育研修事業	教職員を人権教育に関する研修会・研究大会等に派遣した	B	学校教育課
	○人材育成支援事業	支援金を支給し人権問題の早期解決を担う人材を育成した	B	学校教育課
	○入学一時金支給事業	就学が困難な高校生・大学生等に入学一時金を支給した	B	学校教育課
	○家庭教育支援事業	学力課題や家庭の教育力に問題のある児童生徒・保護者に個別指導を行った	B	学校教育課
	○中学校自転車通学助成事業	通学等に対する補助を行った	B	学校教育課
	○中学校各種体育大会派遣等事業	基礎的な体力向上と競技力の向上を図った	A	学校教育課
	○体育振興事業	基礎的な体力向上と競技力の向上を図った	A	学校教育課
	○健康管理事業	疾病予防・治療指示を行い、健康増進の推進した	B	学校教育課
	○小学校遠距離通学費補助金	遠距離通学児童に対する補助を行った	B	学校教育課
	○高等学校生徒通学費補助金	過疎地域からバス通学する高校生徒の通学経費を一部負担した	B	学校教育課
	○基礎学力定着事業	基礎学力の定着が必要な児童生徒に対し学力充実の取組を実施した	B	学校教育課
	○学校給食管理運営事業	4センターから29小中学校に年間182回、統一献立で提供した	B	給食センター

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
③ 特別支援教育の推進	○就学指導事業	適切な就学に向けて支援の充実に努めた	B	学校教育課
	○スクールサポーター配置事業	よりきめ細かな指導を実践した (小学校17校・中学校7校に29人を配置)	A	学校教育課
	○特別支援教育相談事業	多様化、高度化してきている保護者の教育ニーズに対応してきた	A	学校教育課
	○特別支援教育総合推進事業	発達障害児、者への支援について関係機関相互の理解が進んだ 特別支援福知山市連携協議会を組織した	A	学校教育課
	○発達障害早期支援事業	市内全園において就学前スクリーニングを実施した	A	学校教育課
④ 市民参加で進める開かれた学校づくりの推進	○教育のまちづくり推進事業 ・教育のまち「ふくちやま」の推進	「家族だんらんの日」を設定することができた 各課事業の調査とまとめを実施した 「シームレス学園構想」を策定した 適正規模・適正配置に対する市民の関心を高めることができた 幼小中学校を指定し特色ある学校づくりを支援した 中学校6校で「いのちの授業」が開催できた	A	教育総務課
	・教育関連事業の点検と系統化 ・幼小中一貫・連携教育(シームレス学園構想)の推進 ・学校教育改革の推進(市立幼小中学校教育改革推進事業)			
	○特色ある学校づくり支援事業		A	学校教育課
	○いじめ根絶対策事業		B	学校教育課

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
⑤ 学校教育環境の整備	○南陵中学校普通教室棟改築事業	学校教育環境の整備が図れた	B	教育総務課
	○小学校施設設備改修事業 ・学校プール改修事業 ・その他の施設設備工事	老朽化していたプールを改修し、安全面・衛生面の向上が図れた 教育環境の改善や施設整備の充実が図れた	B	教育総務課
	○中学校施設設備改修事業 ・その他の施設設備工事	教育環境の改善や施設整備の充実が図れた	B	教育総務課
	○学校施設の安全対策・バリアフリー化事業	施設の安全対策とバリアフリー化が図れた	B	教育総務課
	○小学校耐震改修事業 ・耐震診断業務(判定委員会含む) ・実施設計業務 ・耐震改修工事	各校にて耐震補強計画を促進した このたびの東日本大震災を教訓に、早急にかつ計画的に耐震対策を進めていく必要がある	B	教育総務課
	○中学校耐震改修事業 ・耐震診断業務(判定委員会含む) ・耐震補強工事	各校にて耐震補強計画を促進した このたびの東日本大震災を教訓に、早急にかつ計画的に耐震対策を進めていく必要がある	B	教育総務課
	○配膳室整備事業 ・実施設計業務 ・配膳室整備工事	平成25年4月の全小・中学校完全給食に向けて、配膳室等を整備した	B	教育総務課
	○小学校教育用コンピュータ等更新事業 ・パソコン教室機器更新	情報教育を実施するに十分な性能をもったコンピュータ等の整備が図れた	B	教育総務課
	○小・中学校ICT環境整備事業 ・全普通教室校内LAN整備 ・校務用グループウェア「ミライム」整備 ・書画カメラ整備(幼稚園も含む)	情報機器を使った授業をする環境を整えることができた また、学校内での情報共有等が可能になった	B	教育総務課
	○小・中学校学校図書整備事業(小8,908冊・中7,451冊)	児童生徒の読書活動の充実に寄与するため、整備が図れた	B	教育総務課
	○スクールバス管理運行	遠距離通学の児童生徒の安全安心な通学手段の確保が図れた	B	教育総務課
	○スクールバス車庫整備事業	バス車庫の整備に向けて取り組んだ	B	教育総務課
	○新学校給食センター建設事業	センター建設用地の購入、基本設計・実施設計を実施した	B	給食センター

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
⑥ 幼稚園教育の整備・充実	○幼稚園施設改修事業	教育環境の改善や施設整備の充実が図れた	B	教育総務課
	○幼稚園ICT環境整備事業	視覚を通じた授業・学習の幅を広げることができた	B	教育総務課
	○私立幼稚園就園奨励費補助金	私立幼稚園通園児の保護者負担の格差を是正することができた	B	教育総務課
	○幼稚園入園支度金	幼児(就学前)教育の振興が図れた	B	教育総務課
	○幼稚園教育管理事業	芸術鑑賞や園児同士の交流を実施することにより健やかな成長に寄与した	B	学校教育課

3 生涯学習の充実 3項目16事業【A評価0 B評価13 C評価3 D評価0】

① 生涯学習施設の整備・充実	○中央・地域公民館講座等開催事業	地域住民に対する生涯学習を推進し交流事業を進め、まちづくりにつなげた	B	公民館
	○地区公民館育成事業	地区公民館活動を支援した	B	公民館
	○公民館連絡会・連絡協議会開催	連絡会・主事会をほぼ毎月1回開催することができた	B	公民館
	○高齢者ボランティア活動推進事業	高齢化が進み、新たな人材発掘が必要である	C	公民館
	○市民会館・市立公民館管理運営事業	さらに経費削減や節電等に努める	B	公民館
	○公民館施設の整備・改修事業	老朽化が著しく、活動運営に支障を来している	C	公民館
	○資料収集整理事業	システム統合のメリットを活かし、今後更に選書の工夫が必要である	B	図書館
	○読書活動支援事業等	読書活動に対する啓発と読みきかせの普及及び図書館利用の促進につながった	B	図書館
	○情報センターの管理・運営事業	インターネットルームの管理、ハイビジョンルームの効果的な活用が課題である	C	図書館
	○中央館、三和・夜久野・大江分館運営事業	システム統合により、住民のニーズに即した図書館サービスが実現できた	B	図書館
② 生涯学習の支援	○生涯学習推進事業	社会教育関係団体の学習成果の発表の場を設けることができた	B	生涯学習課
	○生涯学習推進啓発事業	社会教育事業の総括資料として活用していく	B	生涯学習課
	○社会教育委員会議	諮問に対する答申や社会教育事業に対する指導助言を求めた	B	生涯学習課
	○夜久野町生涯学習センター	生涯学習活動の拠点として有効活用が図られた	B	生涯学習課

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
③ 図書館ネットワークの構築	○図書館システム統合事業	4館のシステム統合が実現できたことにより、図書館利用の統一化が図られたとともにインターネットによる蔵書検索が可能になり利便性の向上が図れた利用環境を整えることにより利用者の利便性の向上が図れた	B	図書館
	○図書館機能充実事業		B	図書館

4-1 文化財の保存・活用 2項目4事業【A評価1 B評価3 C評価0 D評価0】

① 有形・無形文化財の保存、修理	○文化財の指定	福知山市の貴重な歴史・文化資料を後世に伝承するため市指定文化財として顕彰する方法を検討した文化財修理保全の相談や指導・助言を行った	B	生涯学習課
	○文化財の保全、修理		A	生涯学習課
② 埋蔵文化財の保存、保護	○埋蔵文化財保護の行政指導	埋蔵文化財包蔵地での開発に対し、文化財保護法による事前協議、相談指導を行った適切な事前協議により、埋蔵文化財の保護を行うことができた	B	生涯学習課
	○埋蔵文化財の保存業務		B	生涯学習課

4-2 文化財普及・啓発事業 3項目4事業【A評価2 B評価1 C評価1 D評価0】

① 周知普及事業	○文化財講座等の実施	市民に対して文化財や発掘調査への理解、協力への周知を積極的に進めることができた 本市の歴史を語る、文化財群の詳細を知ることのできる図録、解説として充実した書籍を作ることができたが、事業計画が不十分で年度内に刊行できず、次年度に繰り越した	B	生涯学習課
	○広報施設、情報の発信		C	生涯学習課

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
② 地域の伝承、普及事業、文化	○世界鬼学会への助成、国民文化祭のプレ事業の開催	鬼を福知山の観光の顔に位置づける方向性が探れた	A	生涯学習課
③ 資料館等施設の活用事業	○三和町郷土資料館、夜久野町化石・郷土資料館、日本の鬼の交流博物館などの文化財施設の運営	日本の鬼の交流博物館では、企画展、特別展、夜間開館を積極的に実施してPRに努めた また、ホームページを開設した 酒呑童子伝説を絵本で作成した 夜久野町化石・郷土資料館では、特徴ある地質や化石について、市民へ学習の機会を提供できた 福知山市の地質、大地の歴史を紐解く学習資料として解説冊子を刊行した	A	生涯学習課

5 スポーツ活動・文化活動の推進 3項目18事業【A評価2 B評価16 C評価0 D評価0】

① スポーツ活動の支援	○福知山マラソン大会交付金	行事については予定どおり実行できた	B	生涯学習課
	○四都市体育大会事業(通年)	福知山市レクリエーション祭について	B	生涯学習課
	○四都市体育大会事業(当番市)	は、広く市民に参加を促し充実した1	B	生涯学習課
	○スポーツ少年団育成事業	日を過ごしていただく内容になってい	B	生涯学習課
	○体育協会等共催事業	ない	B	生涯学習課
	○生涯スポーツ推進事業	従って実施の有無あるいは実施形態	B	生涯学習課
	○スポーツ振興事業	や内容等の検討が必要である	B	生涯学習課
	○社会人コーチ派遣事業	また、福知山マラソン大会については、	A	生涯学習課
	○体育指導委員会	20周年記念大会としてふさわしい大会	B	生涯学習課
	○福知山マラソン20周年記念事業	が開催できた	A	生涯学習課
② 文化活動の支援	○総合型地域スポーツクラブ育成補助金		B	生涯学習課
	○生涯学習フェスティバル	計画どおり実行できた	B	生涯学習課
	○公民館活動との連携	公民館活動との連携を図ることができた	B	生涯学習課

項目	事業内容・実績・対象者等	成果・課題等	内部評価	担当課等
③ スポーツ・文化施設の整備	○学校施設の使用	市民の体力づくりに寄与するとともに生涯体育・スポーツの振興が図れた計画どおり実行できた	B	教育総務課
	○体育施設設備整備事業(市民体育館・ふれあいの里他)	老朽化が激しく修理に要する費用の増加が課題である	B	生涯学習課
	○各体育施設管理事業(農業者トレセン管理事業他)	有路下体育館の耐震診断を終えた計画どおり実行できた	B	生涯学習課
	○広域避難所耐震診断改修(有路下体育館) ○社会体育施設整備改修(和久市公園・市民体育館)		B	生涯学習課

6 生命の尊重・人権意識の高揚 1項目4事業【A評価1 B評価3 C評価0 D評価0】

① 人権教育・人権啓発の推進	○共に幸せを生きるまちづくり人権講座	さまざまな人権問題について正しく理解を深めるため、地域公民館だけでなくPTAと共催し、学校で講座を実施した	B	生涯学習課
	○公民館・企業巡回人権教育講座	地区公民館や各企業が中心となり主体的な学習会が取り組まれた	B	生涯学習課
	○差別を許さない人材育成事業	継続した事業参加による子どもの主体的な事業運営ができるようになった	B	生涯学習課
	○市民人権意識調査事業	さまざまな人権問題の日常生活での市民意識や、差別・身元調査の認識、人権学習の効果について調査することができた	A	生涯学習課

7 教育委員会の運営改善 2項目3事業【A評価0 B評価3 C評価0 D評価0】

① 教育委員会活動の充実	○教育委員会の議事	市民に信頼される開かれた教育委員会を目指して取り組んだ	B	教育総務課
	○教育委員会事務の点検及び評価	教育委員会事務点検及び評価実施要綱を制定した	B	教育総務課
② 教育委員会会議の公開	○委員会の広報及び公聴	議事録は情報開示請求があった場合公開した。今後は市民に広くお知らせする方法を検討していく必要がある。	B	教育総務課

6 おわりに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて、平成22年度において福知山市教育委員会が行った119事業につきまして、点検及び評価を行いました。

その119事業の中で、「計画以上の成果が得られた。(A評価)」と評価した事業が18事業あり、特に「2 学校教育の充実」の中の「(3) 特別支援教育の推進」と「(4) 市民参加で進める開かれた学校づくりの推進」は、半数以上がA評価でしたが、それとは逆に、「課題があり、改善を要する。(C評価)」と評価した事業も4事業あり、特にC評価が多くあったのが、「3 生涯学習の充実」の中の「(1) 生涯学習施設の整備・充実」での公民館実施事業でした。

これらは事業の手法を改善することにより、より良い成果を得られることになると考えますが、C評価とした事業の中には、事務事業の統合や見直しが必要であると見受けられる事業もあり、教育委員会事務点検・評価委員から、「その事業に対して次年度以降どのように取り組んでいくのかという協議検討が必要である」との意見をいただきました。

また、同委員から、事務事業を点検・評価するに当たり、「事業というものは年度単位での判断だけでなく、中・長期的視点で見つめた事業展開が必要である」、「事業を一面から見て評価をするのではなく、複合的に評価していくように」との意見もいただきました。

福知山市教育委員会としましては、本報告書を議会に提出するとともに公表し、市民への説明責任を果たすとともに、市民に信頼される教育行政のより一層の推進に取り組んでいく決意です。

○点検・評価を行った119事業に係る内部評価の状況は下表のとおり

評 価		A	B	C	D
施 策 名					
1	青少年の健全育成	0	1 3	0	0
2	学校教育の充実	1 2	4 5	0	0
3	生涯学習の充実	0	1 3	3	0
4-1	文化財の保存・活用	1	3	0	0
4-2	文化財普及・啓発事業	2	1	1	0
5	スポーツ活動・文化活動の推進	2	1 6	0	0
6	生命の尊重・人権意識の高揚	1	3	0	0
7	教育委員会の運営改善	0	3	0	0
計		1 8	9 7	4	0

7 資料 《評価の詳細》

施策別評価

施策名	1 青少年の健全育成
方針	家庭と地域、学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう社会参加活動を支援する。また、「心の教育」、「ふれあい」や「家庭教育」などをキーワードにした健全育成活動を促進するとともに、体制の充実を図ります。

項目	(1)社会参加活動の支援	内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○心の教育実践活動 ・「社会総がかりで子どもを育てよう」を実践テーマに、実践活動中央本部と各公民館ブロックの実行委員会が連携し、市域全域での取り組みとして活動を展開し、当初の目標が達成できた。	B
	○少年補導センター推進事業 ・街頭補導活動は年間延べ348回にわたり、97人の補導委員が昼間、夜間の愛の一声運動(3～5人体制)で、犯罪の未然防止活動に取り組み、当初の目標が達成できた。	B
	○子ども会育成事業 ・いきいき探検隊キャンプ(参加者 60名、スタッフ 39名) ・生涯学習フェスティバル模擬店運営(参加者 20名 スタッフ 8名) ・応急手当・救命技能講習(参加者 30名) 上記イベント等を開催することができ、事業の目標は達成できた。	B
	○三岳青少年山の家管理運営事業 ・管理運営委員会への運営補助を行うとともに、健全経営に向けた取り組みに対する支援、助言を行ってきた。 ・近年、青少年の利用者数が減少の傾向にあり、利用者数3,937人(前年5,407人)でキャンプ場の利用は71人である。	B
	公民館 ○親子体験教室の開催 ・中央公民館及び各地域公民館で親子で体験できる教室(講座)を開催した。	B
	○各地域公民館において世代間交流の実施 ・高校生が小学生に動くおもちゃ製作を指導した。(日新) ・地域内の各世代の住民による花の苗の植栽を行った。(六人部)	B

成果 課題等	生涯学習課 ○心の教育実践活動 ・各ブロックの実践活動を通じて、子どもを中心とした地域住民の交流が図られた。 ・現代的課題である「次代を担う青少年の健全育成」の重要性に視点をあて、家庭、学校、地域社会が連携して取組みを進め、「大人が変われば子どもも変わる」をスローガンに、心にせまる内容を更に充実することができた。 ・あいさつ運動は毎月1回実施され、地域の中で一定の定着を見ている。また、実践活動発表会はそれぞれの地域での特性ある活動の公開の場であり、今後継続する重要性を確認することができた。 ○少年補導センター推進事業 ・補導委員体制の強化のために補導委員の増員を行い、各ブロックでは地域の状況に応じた活動を展開した。 ・たばこ、飲酒等の不良行為は減少しているが、自転車の二人乗り等交通ルール違反が増加している。 ○子ども会育成事業 ・子どもの減少により、子ども会の運営ができないため休会する団体が増加し、指導者連絡協議会の運営にも影響を及ぼしている。 ○三岳青少年山の家管理運営事業 ・キャンプ場の使用等、青少年活動としての利用が年々減少傾向にある。 公民館 ○親子体験教室の開催 ・中央公民館で親子体験教室を3回開催。昨年度と比べ参加人数が減った講座もあったが、予想以上の人気となった講座もあり全体的には目標を達せられた。 親子が一緒になって学習したり共同作業を行うことで、親子の絆を深め、子どもの健全な育成につなげることが目的であり、その意味ではより多くの参加が可能になるような工夫が必要と考える。 ○各地域公民館において世代間交流を実施 ・地元の高校との連携による高校生と小学生の交流、地域内における子どもと大人の各世代の交流ができ、参加者にとって貴重な体験となった。計画した各々の取り組みも予定どおり実施できた。 活性化につながることであり、より広範に参加してもらうよう努める。 世代間交流は青少年の健全育成、地域の活性化につながることであり、より広範に参加してもらうよう努める。	
内部総合評価	生涯B	年度当初の事業目標が達成できた。
	公民館B	目標をほぼ予定どおり実施できた。今後は参加者の拡大に向け、ニーズの把握や広報等工夫していく。
担当課	生涯学習課 公民館	

項目	(2)健全育成活動の促進	内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○こだま教育運動 ・掲示教育の推進により、当初の目標が達成できた。(現代的、地域的課題解決に向けた啓発文を月2回363箇所に掲示、推進員371人の協力を得ている。) ○早ね早おき朝ごはん＋ワン(家読)運動推進事業 ・市PTA連絡協議会と連携し各運動を展開し、事業目標は達成できた。 ・家庭教育啓発用ファイル「目と目で伝えよう」の全幼小中家庭への配布を行った。 ・啓発誌の全戸配布を行った。 ○子ども大会 ・安全で自主的なふれあいのある遊び場を提供した。(三段池体育館周辺)約4,500人の参加 ○勤労青少年ホーム ・勤労青少年が教養を高め、健康増進を図るとともに、仲間づくりの場を提供することを目的に講座の開設や施設の提供を行った。 ・講座開設数 13講座183回、延べ受講者数 1,342人	B B B B
成果 課題等	生涯学習課 ○こだま教育運動 ・掲示教育において、地域づくり、環境、人権等の啓発文を掲示し、全国に誇れる教育のまちづくりの実践活動を継続して展開した。 ○早ね早おき朝ごはん＋ワン(家読)運動推進事業 ・学校、PTAとの連携により、すべての学校で実践された。 ○子ども大会 ・多くの協力団体の支援のもと、幼保育園児から高校生までが主役として参加できる、大きなイベントとして継続して実施した。 ○勤労青少年ホーム ・勤労青少年の健全な余暇活動の場を提供することを目的に建設されたが、現在は、高齢者等の利用が多く、目的が達成されたことにより、今後の利用の検討が必要である。	
内部総合評価	B 年度当初の事業目標が達成できた。	
担当課	生涯学習課	

[illegible]

施策別評価

施策名	2 学校教育の充実
方針	基礎・基本の徹底を図るとともに、「生きる力」を育むカリキュラムの実現を目指し、「特色のある教育・学校づくり」のもと、子どもの可能性を引き出す教育内容の充実や豊かな国際感覚と郷土愛を育む取り組みを推進します。

項目	(1)学力の向上・充実	内部評価
事業内容 実績 対象者等	学校教育課 ○文武向上プラン学校支援事業 ・各小中学校の文武向上プランの取組に補助金を支出した。 補助金総額6,834,250円 ○「京の子ども夢・未来体験活動」推進事業 ・実施1学級あたり28,000円を補助した。 ○授業力向上推進事業 ・1中学校ブロックあたり100,000円を補助した。 ○教育関係研究大会運営事業 ○学校美術展事業 ・学校美術展を開催した。 ○教科等研究専門員先進地視察事業 ・箕面市立とどろみの森学園小・中学校を視察した。 ○AET配置活用事業 ・委託により6人のAETを小中学校に派遣した。 ○総合的な学習研究活動推進事業 ・1学級あたり8,800円を補助した。 ○教育活動指導援助事業 ・小学校社会科副読本製作、教職員研修会を開催した。 ○小中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業 ・経済的理由による不就学を防ぐため、就学に必要な学用品費等の援助を行った。 ○学校音楽祭事業 ・学校音楽祭を開催した。 ○チャレンジ学習事業 ・各種検定への取組を活用しながら主体的に学習に取り組む意欲の向上を図った。 ○中学校学力向上対策事業 ・中学1年生を対象に学力診断テストを実施した。 ○スクールアシスタント配置事業 ・1学年2学級以上の学年がある小学校、統合した小学校、全中学校に配置した。	A B B B B B B A B B B A

成果 課題等	学校教育課 ○文武向上プラン学校支援事業 ・各小中学校の文武向上プランの取組に補助金を支出し支援した。 ・学校長の裁量により各校の課題に即応した文武向上策を各校の自主性・自律性を尊重することにより、学校長の学校経営に対する意欲がより高まった。 ○「京の子ども夢・未来体験活動」推進事業 ・職業に関する知識を身につけるなどのキャリア教育を推進するため、小学4年生・中学2年生を対象に職場等での体験活動の取り組みを支援した。 ○授業力向上推進事業 ・9中学校ブロックで校種間を超えた研究教科や課題を設定し、ブロック内の学校が共同して授業力向上の研究を支援した。 ○教育関係研究大会運営事業 ・府内各地域より多数の参加者を得て、本市の積極的な教育実践(情報教育)を公開した。 ○教科等研究専門員先進地視察事業 ・本市の教育力向上をめざし、先進校を視察研修し、教育向上に活用した。 ○AET配置活用事業 ・全中学校及び小学校に、AET(英語指導助手)6人を配置し、英語教育、外国語活動の推進を支援した。 ○総合的な学習研究活動推進事業 ・各小中学校の総合的な学習の研究活動に対し補助金を支出し支援した。 ○学校美術展事業、学校音楽祭事業 ・美術や音楽の成果を発表することで豊かな情操を培った。 ○教育活動指導援助事業 ・小学校社会科副読本の製作をはじめ、教職員研修会の開催など本市教育の基盤となる活動を実施した。 ・平成23年度の新学習指導要領に、新たに(身近な地域や市の)古くから残る建造物が追加されるため、本市の中で、関連する施設、建造物、文化財について加える必要があり、改訂版を作成した。 ○小中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業 ・経済的な事情で就学に支障をきたすことのないよう事業を実施した。 ○チャレンジ学習事業 ・基礎基本の徹底と主体的に学習に取り組む意欲と態度を身につけた生徒を育成する取組を全中学校で実施した。 ○中学校学力向上対策事業 ・中学1年生を対象に学力診断テストを実施し、今後の指導に役立てた。 ○スクールアシスタント配置事業 ・教員の子どもと向き合う時間の確保と総実勤務時間の縮減を図った。	
内部総合評価	B	文武向上プラン学校支援事業、教育活動指導援助事業、スクールアシスタント配置事業については計画以上の成果を得たものとしてA評価とした。その他の事業はB評価とし、総合的には計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。
担当課	学校教育課	

項目	(2)心身ともに健やかな子どもの育成	内部評価
事業内容 実績 対象者等	学校教育課 ○小学校移動教室事業 ・市内宿泊施設を活用した宿泊体験学習を実施した。 ○心の安定基地づくり推進事業 ・不登校総合対策事業として「心の安定基地」づくりを推進し、不登校児童生徒が減少した。 ○学校安全対策事業 ○子ども安全対策事業 ・幼稚園・小学校・中学校に学校安全支援補助金を交付した。 ○学校保健事業 ・学校保健研究大会等を実施した。 ○人権教育研修事業 ○人材育成支援事業 ・人材育成支援金を145人(前年度167人)に支給した。 ○入学一時金支給事業 ・入学一時金を64人(前年度40人)に支給した。 ○家庭教育支援事業 ○中学校自転車通学助成事業 ・5中学校で17人に支給した。 ○中学校各種体育大会派遣等事業 ・2団体と9人の近畿大会出場があった。 ○体育振興事業 ○健康管理事業 ・就学時健康診断等を実施した。 ○小学校遠距離通学費補助金 ・3小学校で21人に支給した。 三和地域での4km以上の通学補助は22年度で事業終了。 ○高等学校生徒通学費補助金 ・市バスの利用等で通学費の軽減となり、申請者は1人のみ。22年度で事業終了。 ○基礎学力定着事業 ・各小中学校において、基礎学力の定着が必要な児童生徒に対して、学力充実の取り組みを実施した。 給食センター ○学校給食管理運営事業	B A B B B B B B B B A A B B B B B B

成果 課題等	学校教育課 ○小学校移動教室事業 ・6校が市内施設を利用して、集団宿泊体験、野外活動体験を実施した。補助対象施設を市外施設に広げていくことも検討する必要がある。 ○心の安定基地づくり推進事業 ・不登校児童生徒が不登校児童生徒の減少を図り、全ての児童生徒が希望を持って登校できる学校とするため、不登校傾向の児童生徒が通う適応指導教室「けやき広場」を核に、不登校総合対策事業として「心の安定基地」づくりを推進できた。 ・訪問指導専門員や訪問指導員、不登校コーディネータの配置などを実施することで、市適応指導教室と学校、また関係機関との連携が深まり、総合的に取組むことができた。 ・不登校児童生徒が減少した。(平成20年度:98人・平成21年度:69人・平成22年度58人) ○子ども安全対策事業 ○学校安全対策事業 ・子ども安全対策連絡協議会を開催、研修会の実施による子ども見守り活動の充実を図った。 ○学校保健事業 ・学校保健の研究並びに普及向上を図り、健康で安全な学校生活を推進した。 ○人権教育研修事業 ・学校における人権教育の推進と教職員の人権問題に対する資質の向上を図るため、さまざまな人権教育に関する研修会・研究大会等に教職員を派遣した。 ○人材育成支援事業 ・人権問題の早期解決を担う人材を育成するため高校生・大学生等に対し支援金を支給し進路実現の支援を図ることができた。 ○入学一時金支給事業 ・経済的な理由により就学が困難な高校生・大学生等に入学時に入学一時金を支給できた。 ○家庭教育支援事業 ・学力課題や家庭の教育力に問題のある児童生徒及びその保護者に勤務時間外に個別指導を行うことができた。 ○中学校自転車通学助成事業 ・通学等に対する補助も教育環境の整備から積極的に推進した。 ○中学校各種体育大会派遣等事業 ○体育振興事業 ・発達段階に応じた各種体育大会に参加し、基礎的な体力向上と競技力の向上を図った。 ○健康管理事業 ・児童生徒の疾病予防・治療指示を行い、健康増進を図った。 ○小学校遠距離通学費補助金 ・通学等に対する補助も教育環境の整備から積極的に推進した。 ○高等学校生徒通学費補助金 ・過疎地域からバス通学する高等学校生徒の通学に要する経費を一部負担し軽減を図った。 ○基礎学力定着事業 ・各小・中学校において、基礎学力の定着が必要な児童生徒に対して、学力充実の取組を実施した。 給食センター ○学校給食管理運営事業 ・計画通り4学校給食センターから、市内29小中学校に、年間182回（米飯給食4回／週、パン給食1回／週）の学校給食を、統一献立で提供した。 ・学校栄養教諭等により、市内の完全給食実施校29校の全学級を対象に、「食に関する指導」を実施した。				
内部総合評価	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 1861 480 1973">学教B</td><td data-bbox="480 1861 1445 1973">心の安定基地づくり推進事業、中学校各種体育大会派遣等事業、体育振興事業については、計画以上の成果を得たものとしてA評価とした。その他の事業はB評価とし、総合的には計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。</td></tr> <tr> <td data-bbox="352 1973 480 2047">給食B</td><td data-bbox="480 1973 1445 2047">計画通り学校給食を統一献立で提供でき、また、「食に関する指導」も実施できたことにより、年度当初の目標は達成できた。</td></tr> </table>	学教B	心の安定基地づくり推進事業、中学校各種体育大会派遣等事業、体育振興事業については、計画以上の成果を得たものとしてA評価とした。その他の事業はB評価とし、総合的には計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。	給食B	計画通り学校給食を統一献立で提供でき、また、「食に関する指導」も実施できたことにより、年度当初の目標は達成できた。
学教B	心の安定基地づくり推進事業、中学校各種体育大会派遣等事業、体育振興事業については、計画以上の成果を得たものとしてA評価とした。その他の事業はB評価とし、総合的には計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。				
給食B	計画通り学校給食を統一献立で提供でき、また、「食に関する指導」も実施できたことにより、年度当初の目標は達成できた。				
担当課	学校教育課 給食センター				

項目	(3)特別支援教育の推進		内部評価
事業内容 実績 対象者等	学校教育課 ○就学指導事業 ・特別支援教育に対する相談や支援に携わる教員の専門性の向上を図った。 ○スクールサポーター配置事業 ・きめ細かな教科指導や生徒指導を行うため、指導補助者を配置した。 ○特別支援教育相談事業 ・臨床心理士2名を配置し、特別支援に関する相談業務や就学指導にあたる教員の指導にあたった。 ○特別支援教育総合推進事業 ・医療、保健、福祉、就労、教育に携わる者が連携して発達障害児、者の生涯にわたる一貫した支援の在り方を検討した。 ○発達障害早期支援事業 ・発達障害のある幼児の早期発見、早期支援に取り組んだ。		B A A A A
成果 課題等	学校教育課 ○就学指導事業 ・特別支援教育コーディネーターによる特別支援学級設置校訪問や就学相談など、指導内容や適切な就学に向けて支援の充実に努めた。 ○スクールサポーター配置事業 ・発達障害等のある児童生徒をサポートするなど、担任だけではカバーできない部分を補助することにより、よりきめ細かな指導実践を行うことができた。 ・配置に当たっては、各校の要望に応じ、指導主事、市特別支援コーディネーターの意見を参考に、平成22年度は、小学校17校、中学校7校に29人を配置した。 ○特別支援教育相談事業 ・臨床心理士2名を配置することにより、多様化、高度化してきている保護者の教育ニーズに対応してきた。 また、特別支援連携チームの一員として、対象児や保護者、学校へも的確な助言や支援を行い、課題の改善を図ってきた。 ○特別支援教育総合推進事業 ・発達障害児、者への支援の状況やニーズについて関係機関において相互理解が進み、子どもを中心として、ライフステージや支援機関を超えた連携がスムーズに行えるようになった。 ・保健・福祉・医療・就労・教育が連携する「特別支援福知山市連携協議会」を組織し、相談支援ファイルや移行期における移行支援シート(保幼→小学校→中学校→高等学校)が作成できた。 ・思春期入り口で行う子どもの困り感や発達障害のスクリーニング調査により、二次障害の防止や校内外の支援連携体制の推進につながった。 ○発達障害早期支援事業 ・就学指導委員会や“のびのび福知っ子”の関係機関と連携を図りながら、市内全園において就学前スクリーニングを実施することができた。 ・移行支援シートを活用した円滑な就学について、保育園・幼稚園・小学校・保護者とのスムーズな連携体制が定着してきた。		
内部総合評価	A	就学指導事業については、計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。その他の事業は計画以上の成果を得たものとしてA評価とした。総合的には、A評価とした。	
担当課	学校教育課		

項目	(4) 市民参加で進める開かれた学校づくりの推進	内部評価
事業内容 実績 対象者等	教育総務課 ○教育のまちづくり推進事業 ◇教育のまち「ふくちやま」の推進 教育のまちづくり市民会議を運営した。(5回) ◇教育関連事業の点検と系統化 各課事業の調査とまとめを実施した。 ◇幼小中一貫・連携教育(シームレス学園構想)の推進 教育のまちづくり推進事務局会議「一貫連携教育部会」を運営した。 ◇学校教育改革の推進(市立幼小中学校教育改革推進事業) 教育のまちづくり推進事務局会議「教育改革検討部会」を運営した。 市立学校教育改革推進プログラムの説明会を開催した。(中学校区単位) 8箇所 延640人 平成23年1月25日～3月2日 パブリック・コメントを実施した。 160通 学校教育課 ○特色ある学校づくり支援事業 ・22年度は、21年度指定校6校に2年次の補助金を支出した。 ○いじめ根絶対策事業 ・6中学校において「いのちの授業」を実施した。	A A B
成果 課題等	教育総務課 ○教育のまちづくり推進事業 ・市民総がかりの教育の推進にスローガン「家族だんらんの日」の設定と推進方法を協議することができた。 ・教育関連事業の点検結果を、まとめることができた。 今後、この結果をどう周知し共有するかが課題。 ・「シームレス学園構想」を策定することができた。 ・学校教育改革に向けて、適正規模・適正配置に対する市民の関心を高めることができた。 今後は、案をとる作業を進めながら計画の推進に努めていく。 「地元理解」の判断と方法が課題。 学校教育課 ○特色ある学校づくり支援事業 ・特色ある学校づくりを進めるため、幼小中学校から指定し、学校(園)づくりを通して、教育の活性化を図った。 ○いじめ根絶対策事業 ・自尊意識を育み、自分の命はもとより他人の命の大切さについて考えることができた。 ・2ヶ年計画の1年次として、中学校6校において、命の大切さについて問いかけてもらう「いのちの授業」が開催できた。	
内部総合評価	教総A 計画以上の成果を得たのでA評価とした。 学教B 計画以上の成果を得たものもあるが、計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。	
担当課	教育総務課 学校教育課	

項目	(5)学校教育環境の整備	内部評価
事業内容 実績 対象者等	教育総務課	
	○南陵中学校普通教室棟改築事業 南校舎改築、仮設校舎解体 RC造3階建2,091.85㎡ 事業費257,399千円(H22) H21・22継続事業	B
	○小学校施設設備改修事業 ・学校プール改修事業 ◇雀部小学校プール循環パイプ改修工事 事業費826千円 平成23年3月完了 ◇上六人部小学校プール改修工事 事業費6,237千円 平成22年11月完了 ◇佐賀小学校プールサイド改修工事 事業費2,758千円 平成22年11月完了 ◇美鈴小学校プールサイド改修工事 事業費1,208千円 平成22年10月完了 ・その他の施設設備工事 事業費総計54,542千円 ◇惇明小学校横駐車場整備工事 平成22年11月完了 ◇大正小学校駐車場拡張工事 平成22年7月完了 ◇雀部小学校駐車場拡張工事 平成22年12月完了 ◇天津小学校体育館壁面改修他工事 平成22年11月完了 ◇下六人部小学校屋内運動場遮音カーテン新設工事 平成22年7月完了 ◇成仁小学校管理棟屋上防水、普通教室改修工事 平成23年3月完了 ◇成仁小学校屋外便所設置工事 平成23年3月完了 ◇菟原小学校屋外高圧開閉器取替工事 平成23年3月完了 ◇明正小学校屋外高圧開閉器取替工事 平成23年3月完了 ◇美鈴小学校コンピュータ教室空調設備設置工事 平成23年3月完了 ◇有仁小学校体育館入口屋上防水改修工事 平成22年11月完了 ◇有仁小学校コンピュータ教室空調設備設置工事 平成23年3月完了 (平成23年度へ繰越) ◇大正小学校駐輪場設置工事 ※事故繰越(東日本大震災により部材等の調達が困難になったため)	B
	○中学校施設設備改修事業 ・その他の施設設備工事 事業費総計11,651千円 ◇南陵中学校管理棟便所設置他工事 平成23年3月完了 ◇南陵中学校外構改修工事 平成23年3月完了 ◇六人部中学校グラウンド側溝整備工事 平成22年12月完了 ◇六人部中学校屋外設備時計改修工事 平成23年3月完了 ◇大江中学校屋外高圧開閉器取替工事 平成23年3月完了	B
	○学校施設の安全対策・バリアフリー化事業 小学校分 ◇大正小学校グラウンド防球フェンス新設工事 事業費6,697千円 平成23年3月完了 ◇上六人部小学校登校坂石積改修工事 事業費4,002千円 平成23年3月完了 ◇上六人部小学校遊具撤去工事 事業費189千円 平成23年3月完了 ◇中六人部小学校遊具更新工事 事業費735千円 平成23年3月完了 ◇上川口小学校遊具更新工事 事業費827千円 平成23年3月完了	B

◇明正小学校遊具更新工事

事業費578千円 平成23年3月完了

◇有仁小学校手摺設置他工事

事業費1,943千円 平成23年3月完了

(平成23年度へ繰越)

◇惇明小学校防球フェンス増設他工事 事業費3,805千円

※事故繰越(東日本大震災により部材等の調達が困難になったため)

中学校分

◇南陵中学校管理棟・特別教室棟手摺改修工事

事業費1,176千円 平成22年11月完了

◇成和中学校グラウンド東側防球フェンス設置工事

事業費4,251千円 平成23年3月完了

◇川口中学校校舎棟手摺改修工事

事業費546千円 平成22年6月完了

◇三和中学校部室前フェンス他改修工事

事業費1,016千円 平成22年12月完了

◇大江中学校手摺設置他工事

事業費8,439千円 平成23年3月完了

(平成23年度へ繰越)

◇桃映中学校段差解消他工事 事業費10,658千円

※事故繰越(東日本大震災により部材等の調達が困難になったため)

○小学校耐震改修事業

平成22年度末の耐震化率 62.8%

・小学校 58.8%(校舎52.5% 体育館73.1%)

・中学校 75.7%(校舎75.0% 体育館77.8%)

・幼稚園 42.9%

・耐震診断業務(判定委員会含む)

◇惇明小学校管理棟・屋内運動場棟耐震診断業務

事業費5,417千円 平成23年3月完了

◇昭和小学校特別教室棟耐震診断業務

事業費2,237千円 平成22年10月完了

◇上六人部小学校管理棟耐震診断業務

事業費1,680千円 平成22年11月完了

◇美河小学校校舎棟耐震診断業務

事業費3,927千円 平成23年3月完了

・実施設計業務

◇惇明小学校北校舎・東校舎耐震改修に伴う実施設計業務

事業費1,879千円 平成23年3月完了

◇大正小学校管理棟耐震改修に伴う実施設計業務

事業費1,260千円 平成22年12月完了

◇育英小学校屋内運動場耐震改修に伴う実施設計業務

事業費1,554千円 平成23年1月完了

(平成23年度へ繰越)

◇細見小学校管理棟耐震診断業務 事業費1,575千円

◇精華小学校校舎棟他耐震診断業務 事業費3,497千円

◇美河小学校屋内運動場耐震診断業務 事業費1,712千円

・耐震改修工事

◇惇明小学校南校舎耐震改修工事

事業費44,510千円 平成22年9月完了

◇大正小学校普通・特別教室棟耐震改修工事

事業費47,450千円 平成22年9月完了

◇雀部小学校教室棟耐震改修工事

事業費74,802千円 平成22年9月完了

B

◇成仁小学校教室棟耐震改修工事 事業費45,465千円 平成22年9月完了	
◇細見小学校屋内運動場耐震改修工事 事業費7,329千円 平成23年2月完了	
◇精華小学校屋内運動場耐震改修工事 事業費8,379千円 平成23年3月完了	
◇明正小学校屋内運動場耐震改修工事 事業費7,403千円 平成23年3月完了	
○中学校耐震改修事業	B
・耐震診断業務(判定委員会含む) (平成23年度へ繰越)	
◇南陵中学校特別教室棟耐震診断業務 事業費2,058千円	
・耐震改修工事	
◇三和中学校屋内運動場耐震改修工事 事業費7,096千円 平成23年3月完了	
○配膳室整備事業	B
・実施設計業務	
◇南陵中学校配膳室整備に係る実施設計業務 事業費1,258千円	
・配膳室整備工事	
◇成和中学校配膳室整備工事 事業費26,471千円 平成23年3月完了	
◇六人部中学校配膳室整備工事 事業費25,316千円 平成23年3月完了	
◇川口中学校配膳室整備工事 事業費3,087千円 平成23年3月完了	
◇川口中学校配膳室整備に伴う外構工事 事業費1,593千円 平成23年3月完了	
○小学校教育用コンピュータ等更新事業	B
・パソコン教室機器更新	
◇惇明小 整備内容:教師用PC1台 児童用PC20台 サーバ1台 事業費5,350,800円	
◇金谷小 整備内容:教師用PC1台 児童用PC5台 サーバ1台 事業費2,104,830円 ※震災による物流停止の影響で繰越	
○小・中学校ICT環境整備事業	B
繰越事業(平成22年度分)	
・全普通教室校内LAN整備 事業費33,127,500円	
・校務用グループウェア「ミライム」整備 事業費4,630,500円	
・書画カメラ整備 事業費2,613,135円(幼稚園も含む)	
○小・中学校学校図書整備事業	B
小学校基準冊数充足率67.1%	
中学校基準冊数充足率61.5%	
◇小学校(26校)8,908冊購入 事業費12,529,365円 書架17台購入 事業費2,667,840円	
◇中学校(9校)7,451冊購入 事業費11,541,313円 書架8台購入 事業費1,460,760円	
○スクールバス管理運行	B
目的:遠距離通学児童等の安全安心な通学手段の支援	
運行:金山スクールバス1台 天津小14人、成和中6人	

	公誠・北陵スクールバス1台 上川口小16人、川口中5人 大江スクールバス5台 美河小53人、美鈴小3人、有仁小28人 夜久野中スクールバス4台 夜久野中78人 ○スクールバス車庫整備事業 (平成23年度へ繰越) ◇公誠・北陵スクールバス車庫新築工事 事業費9,025千円 ※事故繰越(東日本大震災により部材等の調達が困難になったため) 給食センター ○新学校給食センター建設事業		B
成果 課題等	教育総務課 ○小・中学校施設設備改修事業 ・老朽化していた学校プールを改修し、安全面・衛生面の向上が図れた。 ・小・中学校の施設設備工事により、教育環境の改善や施設整備の充実が図れた。 ○学校施設の安全対策・バリアフリー化事業 ・小・中学校の安全対策・バリアフリー化事業により、児童・生徒・園児等の円滑な学校・園生活の確保が図れ、施設の安全対策とバリアフリー化が促進できた。 ○小・中学校耐震改修事業 ・小・中学校の耐震診断業務・実施設計業務・耐震改修工事を行い、各校における耐震補強計画を促進した。 このたびの東日本大震災を教訓に、早急に、かつ計画的に耐震対策を進めていく必要がある。 ○配膳室整備事業 ・平成25年4月の中学校完全給食に向けて、配膳室等を整備した。 ○小学校教育用コンピュータ等更新事業 ・2小学校において教育用コンピュータ等を更新し、情報教育を実施するに十分な性能を持ったコンピュータと周辺機器が揃った。 ○小・中学校ICT環境整備事業 ・小・中学校のICT環境整備事業により、情報機器を使った授業をする環境が整った。 学校内の情報共有や、市内の教職員同士の連絡が可能になった。 ○小・中学校学校図書整備事業 ・学力向上には読書習慣を身につけさせることが必要であり、児童生徒の読書活動の充実に寄与するため、本市の学校図書の充足率が文部科学省の図書標準の65%となるように、計画的継続的に学校図書を整備した。 ○スクールバス管理運行 ・スクールバスを運行することで、遠距離通学となる児童・生徒の安全安心な通学手段の支援ができた。 給食センター ○新学校給食センター建設事業 ・給食センター建設用地の購入、基本設計・実施設計を実施した。		
内部総合評価	教総B	どの事業も計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。	
	給食B	建設事業として、平成22年度は、用地購入と設計だけで建設は進んでいないためB評価とした。新学校給食センターが完成すれば、本事業はA評価だと判断している。	
担当課	教育総務課 給食センター		

項目	(6)幼稚園教育の整備・充実	内部評価
事業内容 実績 対象者等	教育総務課 ○幼稚園施設改修事業 ◇雀部幼稚園遊具更新工事 事業費520千円 平成22年8月完了 (平成23年度へ繰越) ◇大正幼稚園遊具更新工事 事業費651千円 ◇成仁幼稚園フェンス設置工事 事業費714千円 ※事故繰越(東日本大震災により部材等の調達が困難になったため) ○幼稚園ICT環境整備事業 (平成21年度からの繰越事業) ◇書画カメラ整備 電子黒板・デジタルテレビ・液晶プロジェクタに接続して使用 文部科学省推進の実践的活用促進のため 小・中・幼全校(園)整備した。 ○私立幼稚園就園奨励費補助金 市内の私立幼稚園に子どもを通園させている世帯に対し、その世帯の状況に応じて入園料・保育料を減免する設置者へ支援した。 対象幼稚園:聖テレジア幼稚園 小さき花幼稚園 対象園児数:3歳児58人 4歳児63人 5歳児66人 補助金額:16,291,800円 (聖テレジア幼稚園7,739,000円 小さき花幼稚園8,552,800円) ○幼稚園入園支度金 市内の幼稚園に入園する幼児の保護者で、経済的理由により入園の支度が困難な者(生活保護家庭等)に対して支援した。 支度金:保育園にも幼稚園にも就園したことのない場合12,000円 以前に保育園か幼稚園に就園したことのある場合6,000円 実績:支度金受給者6人・支度金合計66,000円 学校教育課 ○幼稚園教育管理事業 ・園児のつどいを開催した。また、幼稚園教育研修会も開催した。	B B B B B

成果 課題等	教育総務課 ○幼稚園施設設備整備事業 ・幼稚園の施設改修事業により、教育環境の改善や施設整備の充実が図れた。 ○幼稚園ICT環境整備事業 ・全幼稚園をはじめ小・中学校全校において、ICT環境整備事業により、電子黒板やデジタルテレビ・液晶プロジェクタに接続して使用する書画カメラを整備した。 - このたびの整備で、視覚を通じた授業・学習の幅を広げることができた。 ○幼稚園就園奨励費補助金 ・私立幼稚園に通っている子どもたちの家庭に対し、世帯の状況に応じて入園料及び保育料を減免される園設置者へ、就園奨励費補助金を交付した。 - この補助金により、私立幼稚園に通っている子どもたちの保護者負担の格差を是正することに努めた。 ○幼稚園入園支度金 ・市内の幼稚園に入園する幼児の保護者で、経済的理由により入園の支度が困難な方々に対して支度金を交付した。 - この支援により生涯学習社会の基盤を培う幼児教育(就学前教育)の振興に努めた。 学校教育課 ○幼稚園教育管理事業 ・幼稚園だけでは体験しにくい芸術鑑賞や同年齢の園児と親しみ一緒に活動することにより園児の健やかな成長に寄与した。	
内部総合評価	教総B 学教B	どの事業も計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。 計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。
担当課	教育総務課 学校教育課	

施策別評価

施策名	3 生涯学習の充実
方針	各地域において、幼児から高齢者までの生涯の各時期における学習・交流の場として、公民館や野外広場などの充実を図る。さらには、これらの施設を有効に活用した施策を推進するリーダーの育成に努め、市民一人ひとりの自己実現を支援する。また、市民が心豊かで充実した生きがいある生活を送るために、生涯学習施設を活用するとともに整備を図り、いつでも、誰でも、どこでも、多様な方法で生涯学習活動を推進します。

項目	(1)生涯学習施設の整備・充実	内部評価
事業内容 実績 対象者等	公民館 ○中央・地域公民館講座等開催事業 ○地区公民館育成事業 ・地区公民館事業負担金及び館長・主事手当支援 ○公民館連絡会・連絡協議会開催 ・市立公民館連絡会 ・市立公民館主事会 ・公民館連絡協議会 ○高齢者ボランティア活動推進事業 ・人材銀行登録者派遣・講座 ・高齢者学級の開催 ○市民会館・市立公民館管理運営事業 ○公民館施設の整備・改修事業 図書館 ○資料収集整理事業 ・閲覧用図書資料の購入実績 一般書2,313冊、児童書1,805冊 計4,118冊 ・除籍資料等の有効活用(再利用) 公共施設(学校・公民館等)への提供 596冊、市民への提供2,339冊 計2,935冊 ○読書活動支援事業等 ・「子ども読書の日」記念講演会 7/10(土)長野ヒデ子氏講演会 参加128人 ・読みきかせ講座2010 6/25～9/30 全4回開催 延参加153人 ・ふるさと歴史講座 8/8～9/18 全4回開催 延参加 49人 ○情報センターの管理・運営事業 ・インターネットルーム 平成22年度実績 年間 5,457人 ・ハイビジョンシアター 平成22年度実績 延41回 1,382人 ○中央館、三和・夜久野・大江分館運営事業 ・中央館 貸出冊数 256,445冊 ・三和分館 貸出冊数 11,308冊 ・夜久野分館 貸出冊数 33,933冊 ・大江分館 貸出冊数 9,426冊 } 登録者数 29,592人	B B B C B C B B C B

成果 課題等	公民館 ○中央・地域公民館講座等開催事業 ・講座や公民館まつり等の開催により地域住民に対する生涯学習を推進した。また、交流事業を進め、まちづくりにつなげた。講座によっては参加者数が減少しているものもあり、啓発方法の工夫、住民ニーズの把握等に努める。 ○地区公民館育成事業 ・地区公民館に対し事業負担金及び館長・主事手当を支出し、支援を行った。 ○公民館連絡会・連絡協議会開催 ・連絡会と主事会を、ほぼ毎月1回開催し、各会では研究テーマを決め精力的に取り組んだ。市立公民館の活動をより充実したものにするために、連絡会・主事会で意見交換・協議・研究を進める。 ○高齢者ボランティア活動推進事業 ・公民館人材銀行登録指導者の高齢化が進み、登録数も徐々に減少しており、活動に影響が出る懸念がある。新たな人材発掘が必要である。 ○市民会館・市立公民館管理運営事業 ・各公民館施設の光熱費等を支出しスムーズな管理運営に努めた。今後はさらに経費削減や節電等に努めなければならない。 ○公民館施設の整備・改修事業 ・各公民館施設とも経年劣化が進み、老朽化も著しく、活動運営に支障を来している状態である。臨時交付金事業により多くの修繕等を実施したが、他にも改修が必要などところがあり、今後も新たに劣化・破損箇所が発生することが予想され、計画的な改修を行う必要がある。 図書館 ○資料収集整理事業 利用者ニーズに応じた図書購入に努めたが、利用者満足度の面からみると十分な蔵書とはいえない。システム統合のメリットを活かし、今後更に選書の工夫が必要である。 除籍資料の市民等への提供については、昨年に引き続き、図書の入替えにより中央館で保管できない資料を有効活用でき、市民サービスにつながった。 ○読書活動支援事業等 講演会は親子で多くの参加があり、読書活動に対する啓発と読みきかせの普及につながった。読みきかせ講座は、成美大学竹内助教授による専門的な講座内容で、読みきかせボランティア養成の一助となった。 ふるさと歴史講座は、生涯学習課とのコラボ企画として初めて開催し、大変好評を得た。3つの事業を通して幅広い年齢層の参加が得られ、図書館利用につながった。 ○情報センターの管理・運営事業 情報センターが別棟であり、館内から死角となるためインターネットルームの管理がしにくい面があり、施設の活用方法について検討が必要である。 シアターについては、機器の老朽化のため使用できず、主におはなし会、講座等のイベント会場として活用している状態であり、シアターとしての本来の活用ができないのが課題である。 ○中央館、三和・夜久野・大江分館運営事業 今回のシステム統合により、住民のニーズに即した図書館サービスが実現できたが、4館の一体的運営の円滑化が今後の課題である。				
内部総合評価	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 1877 475 1982"> 公民館B </td><td data-bbox="475 1877 1442 1982"> 中央公民館・各地域公民館施設ともに建設から経年し、老朽化が著しく、活動運営に支障を来している状態ではあるが、現施設を有効活用して事業を実施し、計画どおり目標は達成できた。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="352 1982 475 2049"> 図書館B </td><td data-bbox="475 1982 1442 2049"> 一事業を除き、計画どおり目標は達成できた。情報センターの管理・運営事業については、改善に向けて検討が必要である。 </td></tr> </table>	公民館B	中央公民館・各地域公民館施設ともに建設から経年し、老朽化が著しく、活動運営に支障を来している状態ではあるが、現施設を有効活用して事業を実施し、計画どおり目標は達成できた。	図書館B	一事業を除き、計画どおり目標は達成できた。情報センターの管理・運営事業については、改善に向けて検討が必要である。
公民館B	中央公民館・各地域公民館施設ともに建設から経年し、老朽化が著しく、活動運営に支障を来している状態ではあるが、現施設を有効活用して事業を実施し、計画どおり目標は達成できた。				
図書館B	一事業を除き、計画どおり目標は達成できた。情報センターの管理・運営事業については、改善に向けて検討が必要である。				
担当課	公民館 図書館				

項目	(2)生涯学習の支援		内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○生涯学習推進事業 ・生涯学習フェスティバル及び生涯学習推進市民大会を開催して目標が達成できた。 ○生涯学習推進啓発事業 ・社会教育事業のまとめを発行し、目標が達成できた。 ○社会教育委員会議 ・第13期、「社会の変化に対応した、地域社会の維持・発展方策について」答申が提出され、当初の目標が達成できた。 ・社会教育委員会議の開催 ○夜久野町生涯学習センター ・生涯学習の拠点として、研修、講演会、学習発表の場として有効活用を図られ、当初の目標が達成できた。 ・年間利用者数 15,223人		B B B B
成果 課題等	生涯学習課 ○生涯学習推進事業 ・社会教育関係団体の活動発表の場として価値あるフェスティバルとなっている。 ・開催時期が人権週間と重なるため、講演会も同時期に多く開催されることから時期の検討が必要である。 ○生涯学習推進啓発事業 ・社会教育事業の総括資料として活用していく。 ○社会教育委員会議 ・教育委員会の諮問に対する答申(第13期)が提出された。 ・毎月の例会において、本市社会教育事業に対する指導・助言を求めている。 ○夜久野町生涯学習センター ・生涯学習活動の拠点として有効活用が図られた。		
内部総合評価	B	年度当初の事業目標が達成できた。	
担当課	生涯学習課		

[illegible]

施策別評価

施策名	4-1 文化財の保存・活用	
方針	本市の歴史と文化を今に伝える埋蔵文化財や美術工芸品、建造物や古文書、伝説や民俗伝承などを後世に継承し、多くの人々に広めるとともに、郷土を愛する心をはぐくむ学習資料とするため、文化財の調査と記録ならびに保存と活用を積極的に進める。専任学芸員を配置した機能の高い文化財資料館に関する研究をはじめ、城下町として栄えた風情を保存しつつ、まちづくりや観光振興への活用にも取り組みます。	
項目	(1)有形・無形文化財の保存、修理	内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○文化財の指定 ・新たな文化財指定に向け、文化財保護審議会において候補を選定し、現地調査を実施するなど、平成22年度の目標が達成できた。 ○文化財の保全、修理 ・文化財修理保全の相談や指導・助言を行った。大原神社(大原)本殿屋根修理、佐須賀神社(私市)本殿屋根修理、一宮神社(一の宮)防犯施設整備、観音寺(観音寺)絵画修理、才の神の藤(南有路)など、文化財の保全事業14件に対して補助を行い、事業目標を達成できた。 ・京都府指定文化財(建造物)の松村家住宅については、平成18年度の松村組破綻、売買による毀損以降、約5年に渡って保全不能の状態が続いていたが、9月末をもって適切な保全・管理を前提に榊足立音衛門が買収し、福知山市文化財保護行政上の大きな懸案を解決することができ、予想を上まわる成果を得た。	B A
成果 課題等	生涯学習課 ○文化財の指定、保全、修理 ・福知山市の歴史・文化を今に伝える貴重な資料を後世に伝承するため市指定文化財として顕彰する方法を検討した。 ・維持困難な市定文化財のみならず歴史性のある文化資料を将来に伝承することができた。 ・修理保全検討者(団体)への制度の周知、広報の周知・徹底が課題である。 ・所有者の文化財保全が困難地域が増加(過疎等による)しつつある。維持・保全への新たな制度を検討する時期にある。 ・旧松村家住宅を文化財として保全できる適切な新所有者の取得に向けて、京都府とともに協議・指導し、売買を成立させた。	
内部総合評価	B	当初予想を上まわりA評価としたものもあるが、項目としては、年度当初の事業目標を達成できた。
担当課	生涯学習課	

項目	(2)埋蔵文化財の保存、保護		内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○埋蔵文化財保護の行政指導 ・埋蔵文化財包蔵地での開発に対し、文化財保護法による適切な事前協議、相談、指導を行い、事業目標を達成した。 ・国、府関連開発事業について担当部署と協議の上、適切な保護指導を行った。 ○埋蔵文化財の保存業務 ・適切な事前協議により、埋蔵文化財発掘調査を行うことなく、その保護を行うことができた。		B B
成果 課題等	生涯学習課 ○埋蔵文化財保護の行政指導、保存業務 ・整理・保管及び普及啓発の拠点整備、確保が大きな課題(大規模な文化財センターは不要か?)。現文化財整理事務所(京口荘)の改修、整備が必要である。 ・埋蔵文化財情報の更なる公表、普及啓発に努める。 ・より一層、市民体験学習会の開催等に努める。 ・開発計画との迅速な調整、調査期間、調査費の負担に係わる協議が課題である。		
内部総合評価	B	年度当初の事業目標が達成できた。	
担当課	生涯学習課		

施策名	4-2 文化財普及・啓発事業
方針	福知山市の歴史や文化について市民自らがその重要性を認識し、理解を持って保全・保護の意識を図っていくとともに、市民共有の財産として後世へ継承していくため、普及・啓発に努めます。文化財の保存・活用について所有者などの関係者だけでなく、多様な担い手の育成を図ります。

42

項目	(2)地域の伝承、文化普及事業		内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○地域の伝承、文化普及事業 ・民俗学的伝承として貴重な「大江山の鬼伝説」、福知山の貴重な文化・観光資源である鬼文化。この鬼文化を研究・啓発する世界鬼学会に対して助成を行い、講演会、シンポジウムを開催した。特に平成23年度開催される第26回国民文化祭京都2011のプレ事業として開催し、年度事業目標を達成することができた。		A
成果 課題等	生涯学習課 ○地域の伝承、文化普及事業 ・大江山の鬼として著名な酒吞童子伝説をPRし、福知山を歴史と文化の町とする。また「鬼」を福知山の観光の顔に位置付ける方向性が探れた。 ・鬼伝説を主体とする資源を、福知山市の文化として如何に活用するか課題であり、国民文化祭での集客について検討する必要がある。		
内部総合評価	A	年度当初予想を上回る事業目標を達成することができた。	
担当課	生涯学習課		

項目	(3)資料館等施設の活用事業		内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○三和町郷土資料館、夜久野町化石・郷土資料館、日本の鬼の交流博物館などの文化財施設の運営を行った。 ・日本の鬼の交流博物館 特別展、企画展を実施した。 春季は「柿原申人 春の草木画集原画展」、夏季は「パプアニューギニア ー精霊と鬼ー」展、また秋季には「宗像慧 鬼神のこころ ー鬼棲む国 日本ー」展を行ったほか、夜間開館としてサマーナイトミュージアムを実施した。また、国民文化祭のプレ事業の位置付けも兼ねた『大江山の酒吞童子』展、「えほん『福知山の酒吞童子』原画展」を開催し、それぞれ来館者の配布する冊子を刊行し、年度当初の事業目標を達成することができた。 鬼の交流博物館ホームページを公開した。 ・夜久野町化石・郷土資料館 夜久野町化石・郷土資料館では、夜久野地域の貴重な地質資料と化石について学習と体験を兼ねた体験教室を開催した。 夜久野町化石・郷土資料館パンフレット、常設展示解説冊子を刊行し、施設の活用について事業成果を達成した。		A
成果 課題等	生涯学習課 ○三和町郷土資料館、夜久野町化石・郷土資料館、日本の鬼の交流博物館などの文化財施設の運営 ・三和町郷土資料館の運営形態を検討し、有形文化財収蔵庫、農耕具等の体験、教材活用を小・中学校に提案していく。 ・企画展、特別展、夜間開館を積極的に実施してPRに努め、またホームページを開設し、集客を確保するよう努力した。 ・大江山の酒吞童子について、基本的な資料を集約し、誰でもがわかる酒吞童子伝説を解説した。小さな子どもからお年寄りまで、見て楽しい酒吞童子伝説を絵本で作成した。 ・鬼の交流博物館の更なる展開を模索し、「丹後天橋立大江山国定公園」、「千年の森」等の中での中核施設とし、鬼文化と一体とした集客力を得る努力が必要である。 ・福知山市の夜久野地域にある特徴ある地質や化石について市民への学習への機会を提供すると共に、農匠の郷やくの内の施設として活用とPRを行うことができた。 ・福知山市の地質、大地の歴史を紐解く学習資料として解説冊子を刊行し、探究心の要望にこたえることができるようになった。 入館者 日本の鬼の交流博物館……… 9,451人/年(前年約5%減) 夜久野町化石・郷土資料館 …… 1,012人/年(前年約10%減)		
内部総合評価	A	年度当初予想を上回る事業目標を達成することができた。	
担当課	生涯学習課		

施策別評価

施策名	5 スポーツ活動・文化活動の推進	
方針	指導者の育成やイベント開催など全市レベル・広域レベルでの活動の支援と、これを展開するためのネットワーク化を進め、各施設を拠点とした地域ぐるみのスポーツ活動・文化活動の定着と向上を目指します。また、市民のスポーツ・文化の振興を支える体育協会や文化協会の主体的な活動・運営により、施設相互の有効活用を進めるとともに、多様な市民ニーズに応えるスポーツ・文化活動の場の提供に努めます。	
項目	(1)スポーツ活動の支援	内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○福知山マラソン大会交付金 ○四都市体育大会事業(通年) ○四都市体育大会事業(当番市) ○スポーツ少年団育成事業 ○体育協会等共催事業 ○生涯スポーツ推進事業 ○スポーツ振興事業 ○社会人コーチ派遣事業 ○体育指導委員会 ○福知山マラソン20周年記念事業 ○総合型地域スポーツクラブ育成補助金 上記の11事業の内9事業は、平成22年度当初目標どおり事業実施できた。 また、社会人コーチ派遣事業と福知山マラソン20周年記念事業については、学社連携や市民協働が図られ、計画以上の成果を上げた。	 B B B B B B B B A B A B
成果 課題等	生涯学習課 ○スポーツ活動 ・行事については、予定どおり実行できた。 ・福知山市レクリエーション祭については、広く市民に参加を促し充実した1日を過ごしていただく内容になっていない。従って実施の有無あるいは実施形態や内容等の検討が必要である。 ・福知山マラソン大会については、1万人を超える参加者を得て、20周年記念事業とし、ゲストランナー2名や歴代の優勝者を大会に招待するなど、記念大会としてふさわしい大会が開催できた。	
内部総合評価	B	目標以上の成果を上げた事業もあったが、スポーツ活動の支援の項目総体でみると計画どおり目標が達成できた。
担当課	生涯学習課	

[illegible]

項目	(3)スポーツ・文化施設の整備	内部評価
事業内容 実績 対象者等	教育総務課 ○学校施設の使用 市民一人ひとりが、日々の生活の中でスポーツに親しみ、心身ともに元気で活気ある生活を送っていただくことができるよう学校施設を開放し、市民の皆さんに利用していただいた。 平成22年度使用実績(延べ数) 小学校 2,132団体 158,954人 中学校 552団体 27,688人 生涯学習課 ○体育施設設備整備事業 (市民体育館会議室空調設備設置、ふれあいの里非常放送設備設置ほか) ○各体育施設管理事業(農業者トレセン管理事業他) ○広域避難所耐震診断改修(有路下体育館) ○社会体育施設整備改修(和久市公園、市民体育館前段差解消工事) 生涯学習課4事業については、いずれも事業実施ができたので、平成22年度当初目標が達成できた。	B B B B B B B
成果 課題等	教育総務課 ○学校施設の使用 ・市内小中学校の体育館やグラウンドを貸し出すことにより、市民の体力づくりに寄与するとともに生涯体育・スポーツの振興を図ることができた。 生涯学習課 ○体育施設設備整備事業 ・設備整備については、計画どおりに実行できた。 ○各体育施設管理事業(農業者トレセン管理事業他) ・管理している各体育施設とも、老朽化が激しく修理に要する費用の増加が課題である。 ○広域避難所耐震診断改修(有路下体育館) ・有路下体育館は、耐震診断を終えた。今後はそれに基づき改修計画・予定を作成していく。	
内部総合評価	教総B 生涯B	計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。 スポーツ・文化施設の整備の項目での生涯学習課担当分は、年度当初計画どおり実施できた。
担当課	教育総務課 生涯学習課	

施策別評価

施策名	6 生命の尊重・人権意識の高揚
方針	「福知山市人権施策推進計画」を基本とした人権問題を解決するための人権施策を総合的に推進し、生命・人権の尊厳を改めて認識するための人権教育・啓発を充実するとともに、共生社会の実現と人権文化の創造をめざします。そのため、学習機会の充実や教育・啓発活動などを推進し、市民一人ひとりが互いの人権や価値観を尊重する気持ちを醸成し、自由・平等で公正な社会づくりに取り組みます。

項目	(1)人権教育・人権啓発の推進	内部評価
事業内容 実績 対象者等	生涯学習課 ○共に幸せを生きるまちづくり人権講座 「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向けて、人権問題を正しく理解するために人権講演会などを行い、人権が尊重された誰もが生きやすいまちづくりを進めた。 ・PTA・小中学校・地域公民館人権講座 ・企業人権講座 ・人権教育指導者養成講座 年度当初計画目標が達成できた。 ○公民館・企業巡回人権教育講座 地区公民館・企業などが主体となって、地域や各企業の実態に即した人権学習を実施し、「共に幸せを生きる」共生の実現を進めた。 ・地区公民館巡回人権教育講座 ・企業巡回人権教育講座 ・就学前人権教育講座 年度当初計画目標が達成できた。 ○差別を許さない人材育成事業 STAR(差別を許さない)子ども育成協議会とともに、あらゆる差別を許さず見逃さない、心豊かな人権感覚を持った子どもの育成を進めた。 ・国際交流・多文化共生事業 ・中学生人権文化体験研修 ・障害のある子どもたちの社会参加 年度当初計画目標が達成できた。 ・ヒューマンシネマフェスタ ○市民人権意識調査事業 従来の意識調査の内容を全面的に見直し、人権問題の基礎的な考えやさまざまな人権問題の理解と認識について調査するため、調査票を2種作成し実施した。調査結果は、今後の人権教育・啓発事業の展開、さらには「人権施策推進計画」の点検評価をするにあたっての基礎資料として活用する。 調査票を2種作成し、さまざまな人権問題ごとに市民意識を調査することができ、年度当初計画目標以上の成果を達成することができた。	B B B A

成果 課題等	生涯学習課 ○共に幸せを生きるまちづくり人権講座 ・さまざまな人権問題について正しく理解を深めるため、地域公民館を中心に学習機会を設けているが、特に30代、40代の市民の皆さんの参加拡大を図るため、会場を地域公民館だけでなく、PTAと共催し小中学校で実施した。今後も20代を含めた若年層の参加拡大を図るために、保育園、幼稚園と連携した人権講座の実施を検討するとともに、さまざまな人権問題についての学習テーマの企画立案と参加しやすい機会の提供に努めていく。 ○公民館・企業巡回人権教育講座 ・地区公民館や各企業が中心となって、各地域や企業の身近な問題をテーマに、人権教育啓発DVDを活用し、主体的な学習会が取り組まれているが、今後は、親子で「命の尊さ、家族や友達の大切さ」などについて視聴できる視聴覚教材も有効に活用されるよう教材の充実と周知を図っていく。 ○差別を許さない人材育成事業 ・STAR子ども会員を組織化し、継続した事業参加による子どもの主体的な事業運営ができるようになった。また、高校生ボランティアの協力を得て、異年齢間の仲間づくりと心豊かな人権感覚を持つ子どもの育成を図ることができた。 今後は、STAR(差別を許さない)子ども育成協議会の大人の指導者の充実を図るために、さまざまな子ども育成団体との連携を検討する。 ○市民人権意識調査事業 ・さまざまな人権問題の日常生活での市民意識や、差別・身元調査の認識、人権学習の効果について調査することができた。今後は、全庁的な調査結果の課題の認識と、学習資料の作成、人権施策推進計画の見直しを行う。	
内部総合評価	B	A評価もあるが、項目全体評価としては、年度当初の事業目標が達成できた。
担当課	生涯学習課	

施策名	7 教育委員会の運営改善
方針	主体的でより市民に信頼される、開かれた教育委員会の運営に努めます。

50

項目	(2)教育委員会議の公開		内部評価
事業内容 実績 対象者等	教育総務課 ○委員会の広報及び公聴 教育委員会議の開催については、市広報担当課を通じて広報した。 平成22年度での傍聴者1人であった。		B
成果 課題等	教育総務課 ○委員会の広報及び公聴 ・議事録は、情報開示請求があった場合公開しているが、今後はホームページへ掲載するなど、市民に広くお知らせする方法を検討していく必要がある。		
内部総合評価	B	計画どおり目標は達成できたものとしてB評価とした。	
担当課	教育総務課		

平成23年度（平成22年度対象）
福知山市教育委員会点検・評価報告書

発行 平成24年1月

編集 福知山市教育委員会

〒620-8501

京都府福知山市字内記13番地の1

TEL 0773-22-6111（代表）

FAX 0773-24-4880